

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提 出 者
27年－6 (27.2.2)	文化観光 スポーツ	<p>いわゆるイスラム国による残虐非道な行為に対し「非難の決議」をし、また、政府に対し、危険区域への旅行者や外国在住邦人に対し、不要不急の旅行・滞在を慎むべきことを周知徹底することを求める意見書の提出について</p> <p>▶陳情の理由</p> <p>2月1日早朝、いわゆるイスラム国（略称＝ISISまたはISIL）により、日本人ジャーナリスト後藤健二さんが殺害されたという訃報が飛び込んできた。彼は、同団体に拉致され後に殺害された、湯川遥菜さんを助けるために現地に向かい、拉致されたようだ。まず、陳情に先立って、亡くなった二名に対し、心から哀悼の意を表したい。</p> <p>さて、罪もない邦人に対し、残虐な方法で一方向的に危害を加えるISILの行為は、断じて許されない行為である。身代金を盾に、着々と勢力を拡大するISILに対し、国際社会が協調して包囲網を形成していかねばならない。</p> <p>そこで、鳥取県議会として、亡くなった2邦人に対して「哀悼の意」を表するとともに、ISILの行為について「非難の決議」をすることを求める。</p> <p>なお、注意しなければならないのが、ISILというのはイスラム教ないしイスラム国家とは大きく異なる事である。イスラム教は、自身の信仰する唯一神アッラー以外を信仰する者に対しても比較的寛容であるが、過激派たるISILは、それ以外の宗教を信仰する者や無宗教者に対し、執拗なまでの迫害や虐殺などを行ってきた経緯がある。最近では、日本がアメリカなどと協調路線をとって、「難民支援」のために資金を拠出すると表明したことなどで、その敵対心が日本人にも向いた印象を受ける。</p> <p>非難されるべきはISILであって、他のイスラム国家とは、これまでどおり友好的な関係が構築されるべきである。後藤さんの親族が事件後に声明を出したとおり、このたびの行為が「憎悪の連鎖」になってはならない。「戦争のない社会をつくりたい」「戦争と貧困から子どもたちの命を救いたい」との後藤さ</p>	足 羽 佑 太 (倉吉市)

	<p>んの遺志を継ぐため、県議会として、上記の決議をなすことを求めたい。</p> <p>ISILが拠点とするイラク、シリア付近は、なおも危険な状況にある。また、その他にも、ウクライナとロシアの紛争地域など、世界には渡航を避けた方がよいと思われる地域が多々存在する。イスラム国は今後も日本人を標的にすると予告しており、新たな被害が生じかねず、危険である。</p> <p>そこで、鳥取県議会として、政府に対し、危険区域に旅行をする旅行者や外国在住邦人に対し、不要不急の旅行・滞在を慎み、可能な者は速やかに帰還すべきことを周知徹底することについての意見書の提出を求める。</p> <p>▶陳情の要旨</p> <p>(イ) いわゆるイスラム国による残虐非道な行為に対し、鳥取県議会として「非難の決議」をすることを求める。</p> <p>(ロ) 鳥取県議会として、政府に対し、危険区域に旅行をする旅行者や外国在住邦人に対し、不要不急の旅行・滞在を慎むべきことを周知徹底することについての意見書の提出を求める。</p>		
--	--	--	--